

田上町夏休み教室 令和7 年8月7日（木）

新潟県田上町教育委員会主催で、田上町の小学生約24名にProjectWET から「水リンピック」の活動を行なった。

日時 令和7 年8月7日（木）10：00

場所 田上町地域学習センター

エドゥケーター 小長谷 幸史（新潟薬科大学）

参加児童 田上町立田上小学校と矢代田小学校の児童合計24名

活動概要 水リンピックの中で、プラスチックのコップに1円玉を入れていく「棒高跳び：天までとどけ」、ゼムクリップを水に浮かべる「背泳ぎ：沈まないで」、石けんでボートを走らせる「スカル競艇：泡のパワー」の3つを児童を4チームにして行った。

今回の活動では、「背泳ぎ：沈まないで」を行った後に、「クリップが水に浮かばないようにするには何を入れたらよいか？1 砂糖、2 塩、3 洗剤」の質問をして、児童のからの反応を聞いてから、クリップが浮いているプラスチックコップに砂糖ひとつまみ、塩ひとつまみと台所用洗剤をそれぞれ1滴入れて違いを見せた結果、台所用洗剤を入れた。一部の児童は知っていたが、台所用洗剤を入れた途端に沈んだクリップを見て、児童の一部から驚きの声があがった。

「スカル競艇：泡のパワー」では、石けん以外にも樟脳も使ったが、児童やその保護者には聞き覚えのなかったこと、樟脳が粉末だったため使いにくかったことから効果は不十分だったと考えられた。全体としては大部分のボートが水上を走る姿が見られた。一部走らないボートがみられたが、それは児童が水に溶けた石けんをボートの裏面に手で塗りつけてしまっていたためであったため、今後は注意が必要と考えられた。

今回の活動では、ほかに大学生のエドゥケーターが3 名参加する予定だったが、JR の運休のため、1名のエドゥケーターでの活動になった。そのためスタッフの手が足りない状態であったが、児童の表情からはおおむね満足していた様子がうかがえた。



「背泳ぎ：沈まないで」クリップを水に浮かべる競技
低学年の児童がいるので3つ沈んだら終わりにした



「スカル競艇：泡のパワー」石けんや樟脳で走るボートを作成中